

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 美作市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒707-8501 岡山県美作市栄町38-2	
本票作成	部署名：市民部くらし安全課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	公共サービスの提供、公共施設の運営等				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	1	美作クリーンセンター		岡山県美作市杉原340	
	2	大原病院		岡山県美作市古町1771-9	
	3	大芦高原温泉雲海		岡山県美作市上山1735	
	4	美作浄化センター		岡山県美作市湯郷932	
	5	美作浄水場		岡山県美作市檜原下160-1	
6	美作市役所		岡山県美作市栄町38-2		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 208 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和1年度)	(令和4)年度排出量	目標年度(令和4年度)
	17,978 t CO <sub>2</sub>	16,205 t CO <sub>2</sub>	17,438 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和4)年度排出量
	1	美作クリーンセンター	4,002 t CO <sub>2</sub>
	2	大原病院	903 t CO <sub>2</sub>
	3	大芦高原温泉雲海	775 t CO <sub>2</sub>
	4	美作浄化センター	620 t CO <sub>2</sub>
	5	美作浄水場	484 t CO <sub>2</sub>
6	美作市役所	446 t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間： 令和2年度 ～ 令和4年度 (3箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(4)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	9.9 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量		
			基準年度	(4)年度	目標年度
			CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和4年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

美作市の温室効果ガス排出量は、市役所以外の生活に密接した事業所（廃棄物処理施設、水道施設、観光施設等）が主な排出の割合を占めており、コロナ禍の活動制限や、人口減による需要量の低下により減少していることが推測される。また、美作クリーンセンターで焼却される可燃ごみに含まれるプラスチックごみの割合が非常に低く、ごみの組成分析の水分値を国の示す20%から現調査値（44.07%）を反映したところ、推計値が大幅に減少したことも要因といえる。これは、プラスチック製容器包装類などの適切な分別が推進されていることにより、全国的な水準よりもプラスチックごみの焼却が少ないとも評価できる。

**【推進体制】**

温室効果ガス排出量の削減に向けて、市職員の主体的な取り組みに加え、組織的な計画推進や目標達成状況の管理が求められることから、市長をトップとした組織体制を整備し、「美作市温暖化対策推進本部」のもと継続的な実行計画の評価、改善を行う。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
美作クリーンセンター 大原病院 美作浄化センター 大芦高原温泉雲海 美作浄水場 美作市役所	(令和4年度実施分) ・ 昼休みの消灯、トイレや利用者のいない場所の消灯 ・ 高燃費、ハイブリッド車を中心とした環境負荷の少ない公用車の購入 ・ クールビズ、ウォームビズの推進 ・ 毎年2回のノーマイカーデー実施 ・ 事務用品の詰め替え品利用やリサイクル可能な消耗品の購入 ・ 物品の再利用や修理による長期利用 ・ 廃棄物の分別の徹底に努め、ごみの減量化を図る  (今後実施予定分) ・ 施設、設備の修繕を行う際は、現状より高効率な機器に更新する また、関連計画等の整合を取りながら、計画的に回収更新を図る ・ 電気製品等の物品の購入、リース、レンタルを行う場合は、省エネタイプで環境負荷のつくらないものの購入に努める。 ・ 公用車は、燃費のよい車種や低公害車を優先的に採用するとともに、運転者はエコドライブに努める。 ・ 職員への地球温暖化対策に係る情報の提供を行うとともに、研修を実施し意識啓発を図る。

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	有	企業との共同森づくり事業：美作市が所有する森林を森林保全活動に取り組もうとする企業に提供し、森林の育成活動に努める活動。現在2社の企業と取り組みをむずび、美作市上山の市有林を提供し、森林保全活動に取り組んでいる。
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	美作アリーナ・勝田総合支所に太陽光パネルを導入、勝田・大原・東栗倉総合支所に薪ストーブを設置。自立災害拠点としての能力向上及び再生可能エネルギーの導入による温室効果ガスの低減を目指している。
その他	無	

**【その他特記事項】**

--